

無料

ご自由にお取りください

[OSPREY]



VOL. 3
JANUARY

[SPIRITUAL]

S

[PERFORMER]

P

DEBUT!

O.S.P初の
メタルバイブ!!



OVERRIDE

O.S.P
動画

随時更新!!

Keep it
on the down low!!

—並木敏成が語る
あのルアーの真実—
ルアーと色の関係を紐解く



O.S.Pが誇る
三人のスペシャリストが“旬”を説く!
三人の賢者はこう釣る!!
小田圭太 / 松村 寛 / 山添大介

O.S.Pクロニクル
極寒期こそ迷わず選びたい...
HIGH CUT

O.S.P

OVERRIDE

O.S.P's Go-Getter!!

阿修羅 O.S.P 925 & ルドラ 30
阿修羅 O.S.P ルドラ 30
file.03
浦川正則&坂本洋司=解説

O.S.Pが誇る凄腕プロスタッフが解説する
“絶対釣果”を確約するルアーの使い方。
これさえ読めば、今日からアナタもGo-Getter!!



使い方

… 出番となる シチュエーション …

11月後半、シーズンによっては12月頃の水温が下がりはじめるタイミングで、ジャークベイトが出番となる。「水温が下がるほどバスが浮き、それらをライトリグよりも高確率で獲れるのがジャークベイト」と語るのは、旧吉野川や四国リザーバーをホームにするプロスタッフの坂本洋司。「キューヨシのバスなら水温4~5℃でも巻いて釣れる」とは、旧吉野川をメインにソルトウォーターをも網羅するプロスタッフ、浦川正則の弁。



阿修羅O.S.Pとルドラは、そのフィードのベイトのサイズやバスのアベレージによって使い分けるのが基本。加えて、水が濁っていたりライトのときなどはアビール力を求めて、ボディサイズが大きいルドラをチョイスする。また、フロートイングは浅いエリアや水温が高くてもバスも活性化されているときに、サスペンドは低水温期。スローフロートイング(スベック2)はバスの目線よりも上で誘いたいときにそれぞれチョイスしている。

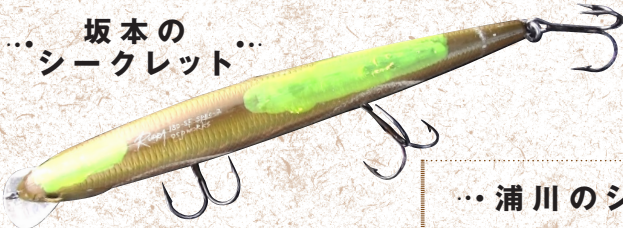
… それぞれの使い分け …



… 阿修羅 O.S.P & ルドラとは …

「食わせる力」と「寄せる力」と「融合を具現化したビッグシンカーワームの」ラはビッグベイトの「食わせる力」と「寄せる力」と「融合を具現化したビッグシンカーワームの」ラはビッグベイトの「食わせる力」と「寄せる力」と「融合を具現化したビッグシンカーワームの」

… 坂本の シークレット …



「背中にピンクのマーキングが入っているピワコシャッドをよく使うのですが、視認性があるので、自分がイメージしている動きが出せているのかとか、ストラクチャーに対してどこを通しているのかなどを目で確認することができます。このカラーが出る前は、自分で色をつけていたんです。このマーキングが見えるか見えないかの水深で食ってくことも多いです」

… 浦川の シークレット …



… 浦川の ジャーク & 坂本の ジャーク …

浦川が実践しているジャークはフロートイングの場合、2回ジャーク後にルアーを浮上させる。このリズムの繰り返し。サスペンドを使うときは、ポーズをしっかり入れるという。坂本のジャークは2ジャーク1ストップ。このストップで糸ふけを取りながら、ここでバイトを聞いてみる。手前に来させずに、できるだけ移動距離を抑えることが両者のジャークの最大のキモ。



坂本



浦川

PRESENTER

セットで1名様に!!

O.S.P イヤーウォーマー

O.S.P つば付きニットキャップモデル4

O.S.P フードド ネックウォーマーモデル2

応募方法_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。

- このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- このパンフレットの率直な感想
- このパンフレットに求める情報
- 釣り歴とホームグラウンド
- O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2015年1月5日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

info@o-s-p.net

個人情報について_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

毎日更新! O.S.Pのすべてがわかる!!
O.S.P公式ホームページ

www.o-s-p.net

O.S.P Lurefishing Facebookページ
http://on.fb.me/1ivloty

並木敏成の知られざる素顔が明らかに…!?
並木敏成オフィシャルサイト「THIS IS T.NAMIKI」
http://t-namiki.net/

並木敏成Official Site「THIS IS T.namiki」
更新情報 Facebookページ

http://on.fb.me/1iE8UiY

小田圭太 @兵庫県・近隣野池郡

オーバーライド
(チャートブルーバック)

実はただ巻きもすごいんです!!



冬のマッディな血池において、必ずボクが使用するのが、オーバーライド3/8ozです！オーバーライドの特徴は、なんといってもキレのあるスライドフォール。リフトした後の滞空時間が長いので、リフトで見に来たバスが追いつける間を与えることが可能。この性能は、水深が浅い血池では特に重要な要素といえます。しかもそのスライドは単調なモノではなく、右カーブ、左カーブ、直進フォールと多彩な動きをしてくれ、IQの高いスレバスにも思わず口を使わせます。ロッドアクションは、2回ショート



ピッチなリフトから、しっかりラインテンションを抜いたフリーフォールが基本。血池のど真ん中など広範囲を探る時は、大きなストロークで1回シャクってからのフリーフォールがグッド！個人的に一番オススメな使い方は、ストレートリトリブ。血池の中央部に遠投して、着水と同時にリトリブを開始。間髪入れずに、心地いいバイブレーションが手元に伝わり、着水と同時にバスを誘うことができます。カラーはチャートブルーバックがフェイスリット！オーバーライドを使って、アツいウィンターバッシングを楽しんでください!!

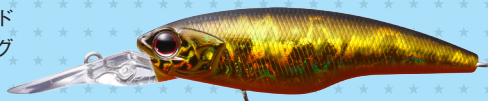
松村 寛 @茨城県・霞ヶ浦

ハイカット
(黒金オレンジベリー)

カラーローテーションは必須!



12月～1月の霞ヶ浦における私のフェイスリットはハイカットです。使いどころはズバリ、消波ブロック帯および風裏のハードボトム。余計な選択肢は持たないでエリアの風当たり具合で決めます。できるだけ風の当たらないスポットのほうが、じっくり取り組めるためおすすめ。ハイカットはフローティングとサスペンドがありますが、ただ巻きならフローティング、ポンプリトリブや止める動きが入るときはサスペンドをチョイス。カラーは単純で、晴れは黒金、うす曇りなら銀、雨などローライトならチャートやクラウン。それでも反応がないときは白系、クリア等のナチュラル系もローテーション。デッキ上やボックスに何回付け替えた形跡が残るか？がバイト数に比例してくるのでこまめにカラーを変えろ！これが秘訣です。タックルは基本スピングーフロロ5lbを使いますが、根掛かりが多い場所ではベイトフィネスタックルで10lbをチョイス。その他、この時期に最も注意すべきは防寒です。O.S.Pフーデッドネックウォーマーモデル2は秀逸ですね。冬は寒いのにゆっくり操作しなければならない釣りが多いので、防寒対策をしっかりと！これが大前提です!!



山添大介 @千葉県・印旛沼

ドライブクロー4in
(オキチョビクロー)

音を立てないアプローチを!!



フィールドは最低水温まで下がる一歩手前のこの時期。水深1mにも満たないシャローで反応してくれる魚は極わずかではありませんが、だからこそ一匹の価値を堪能できるシーズンでもあります。この時期の釣行に私の中で欠かすことができないルアーはドライブクロー4in。低水温期でも動きが硬くならず、各パーツがしっかりと動き、ボリュームもベストサイズのため不可欠な存在となっています。オススメカラーはキャストティックチョイス。印旛沼のようなマッディシャローレイクも、この時期になると水温の低下にともなって水の色に透明感が出てきます。キャストティックチョイスは背と腹の色が異なるツートンカラーとなっており、やや透明感がありながらもシルエツトには強過ぎず弱過ぎず。それに加えて赤、青、緑の細かいラメが散りばめられているため、水の中では非常に絶妙な色合いで、この時期の水色にベストマッチです！狙うスポットはアシ、ガマの密度の濃い箇所や倒れている部分等の隙間にテキサスリグを落としていきます。アプローチの際、音を立ててしまうと食わないので、一発でスッと入れることが大切です。食えば黒くて太い魚が多いので、ぜひともチャレンジしてみてください!!



三人のローカルが見据える

「今」最も効果的な釣り。

あなたなあ、どうする？ どうしてる？

釣りに行くための〇〇

全国のお父さんアングラ一様。釣りに行きたくても、自由に行くこと、**かないませんよね？それは釣り業界人と同じ。**だから釣りに行く前には必ず、**こんなこと**、しているのです……

【気持ちよく釣りに行くためには、妻への愛情…!?】—プロスタッフ三村「バカイチ」和弘さんの場合

まあ、あれですわ。世間の家庭持ちの男連中は大体、嫁さんに弱いハズ。そこで毎週、毎週釣りに出掛けるとおおよそどこかでおかしくなり崩壊(笑)。今までそんな仲間たちを、たくさん見てきてますわ～。

そう言うバカイチも、それについては共感できます。だから、するべきことはちゃんとしている。自分でそう信じていますが、その究極の答えはわからんわ～。

でも、その本題としている多分マックス級の答えを結婚15年のバカイチがみなさんに伝授しましょう。みなさんには、簡単な？ 人それぞれによって違うんちゃうかな？

それは… 笑わんといてくださいよ。絶対に笑わんといてくださいよ。似合わないって言わんといてくださいよ。

「花には水を 妻には愛を」

これだけ聞いてご理解いただける方ならこれからも、ずっと安心して釣りに出掛け続けられるでしょう。年に1回、2回の遠征、誕生日にはお気に入りのあのリールやロッド、もちろんO.S.Pルアーも買ってもらえるはず(笑)。

ではでは「???」が続いたあなたへ。答えは愛情だけでエエんですわ～。

ホンマにそのまんまです。花には水、妻には愛情を。ほんの少しのことでエエんです。玄関を開けて置き物が替わっていれば声を掛ける。

飾っている花が変わっていれば「花がキレイだ～」と、もしトイレの人形がサンタクロースになっていけば「かわいいやん」と言うだけでエエんです。嫁さんが美容院へカットへ行ったら「エエ感じになったね」と。そんな言葉が週末の釣りに気持ちよく出掛けさせてくれるのです。

そんな偉そうに言うてるバカイチですが、こんな言葉を嫁さんに言われますわ～。「わからへんかったの？」ってね(笑)。

ではでは、長い文面を読んでくれたみなさまの、幸運を祈ります…



KEEP IT ON THE DOWN LOW!!

— 並木敏成が語るあのルアーの真実 — このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

ルアーとカラーの関係

[テーマ]

Special Issue

並木敏成が考えるカラーとルアーの関係

今回はアンケートにも非常に多かったみなさんの疑問、ルアーと色の関係について紐解いてみよう。

サカナが水中で物体を見つけるためには視覚に頼る場合と、側線で感じる場合がある。ルアーのカラーというのは、視覚によるもの。ただし色が地味でも波動が強ければその存在を知らしめることができ、逆にルアーのサイズが小さく波動を出しにくい、たとえばi-Waverのようなルアーにおいては派手な色を選ばなければバスがそれに気づかない場合もある。

こうしたケース以外にも、派手めに振る、もしくは地味めに振ることが要求される場合もあるが、それは別表にて……

ルアーのカラーを大別するとアピール系と同化系の2つ

基本的な色選びの話を進めると、まずルアーにおける「色」というのは大きく3つに分けることができる。それはアピール系と、まわりに同化する地味系、そしてマッチザベイト系である。

だがエサに似せるのはある意味、

どっちにも振ることができる。例えばチャートは普通に考えるとアピール系に分類されるが、黄色く濁ったマッディウォーターに入ると、その水と同化して地味系、もしくは保護色のエサと同じような色に見える。したがって一概に、チャートはアピール系であると言い切ることはできない。

アピール系とは膨張色。チャートやパールホワイトを代表に、あとはシルエットをはっきり出すブラックもこれに入る。またフラッシング系のシルバーやゴールドも、アピール系に分類している。

対する地味系とは基本的にまわりの色と同化している、もしくは透け感のあるもの。シルエットがはっきり出ない色で、たとえばボトムを引くルアーであればボトムの色。立ち木やウィードではそれらと同じ色。またバスが見上げる状況であれば水や空の色と同化するものが、それに当たる。

先に出たシルバーやゴールドはフラッシングが届く水域であればアピール系になる場合もあり、一般的な小魚は銀色（もしくはフナのような金色）であるため、ベイトフィッシュが異常にいる状況では、ときに地味系に分類することもある。

余談ではあるが、ある程度のマッディウォーターにおいてチャートは晴天無風のハイライトな状況下でも同化系カラーとなり、決してアピール系ではない。クリアウォーターにおけるチャートは明ら



かにアピールであり、ローライトで有効なことはあってもハイライトではスレバスが見切って食わないケースも多い。

しかしマッディ度合（けっこうなマッディウォーター。霞ヶ浦水系ぐらいのマッディならばチャートはアピール寄り）によっては晴天無風の中でもスレバスが食ってくるカラーである。

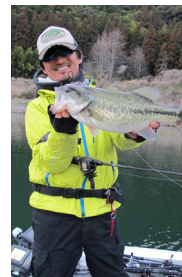
そう考えるとマッディウォーターではシルエットがはっきり出るブラックこそアピール系で、極度な濁りやローライトコンディション下で効くのはそういった理由からだといえる。

人間から見やすい色とバスからは見にくい色

アングラーから見やすく、バスからは見にくい、というチョイスが必要な時もある。ミノの背中やマーキングやポップアのカップなどは派手でありながら、それ以外は地味。これはアングラーがルアーの位置を把握できるカラーで、例えば立ち木の横でぴったり止めたときや、チェイスしてきたバスに対して的確なタイミングで効果的なアクションを入れたいとき、さらにはトレースするコースを正確にコントロールしたいときなどに選びたいカラーだ。

人間の視覚が感じるものとバスの感覚は意外と近い

実は人間の視覚も、色を選ぶ時に参考になる。薄暗くなった、とか、まぶしいと人間が



感じる時、バスも同じようにそう感じているのだ。したがって自身が薄暗くなってきたと思うのであれば、それまで使っていたカラーよりもややアピール系に振り、まぶしく思うなら地味系に振る。バスは人間ほど細かい色の差まではわからないだろうけれど、感覚は同じと考えていい。

今回はルアーとカラーの関係を紐解いてみた。例に挙げたハイカットは寒くなるこれからの時期に活躍するアイテムであることはもちろん、日本のフィールドにおけるカラー選びの基準になるルアーでもある。これをベースにクラックであれば波動が強くなるため少し弱めに、i-Waverなどの波動が弱いルアーであれば強めに振って色を選ぶといいだろう。

アピール系	地味系
マッディウォーター	クリアウォーター
ローライト	ハイライト
風がある	無風
ロープレッシャー	ハイプレッシャー
広い場所	狭い場所
早い勝負を望むとき	同じ場所で搾り出したいとき
バスの密度が薄い	バスの密度が濃い
弱波動	強波動

※波動はルアーのサイズ、ハイピッチとローピッチ、水を叩くルアー側面の面積、ラウンドとフラットなどが関係する

↑ マッディ ↓

	サンセットタイガー	黒金Ver.T	マットタイガー	チャートブルーバック
	ゴーストハニーブラックバック		黒金オレンジベリ	
	ゴーストハニーブルー	バッシングゴールド		
ナチュラル	リアルアユ	リアルハス	リアルワカサギVer.2	アピール
	リアルオイカワ	リアルワカサギ	HFワカサギ	パールギル
	潤るワカサギ	DMモロコ	DM公魚	アイスシャッド
	アライブシュリンプ	TSウォーターメロン	DM公魚	TSピンククラウン
	アライブシュリンプ	DMモロコ	DM公魚	
	艶ワカサギ	DMモロコ	DM公魚	DMピンクレディー
	スーパーゴースト公魚	DMモロコ	DM公魚	アバロンハニーピンク
	クリア公魚	DMモロコ	DM公魚	
	ピンクレディー	DMモロコ	DM公魚	
	アバロンワカサギ	DMモロコ	DM公魚	
	アバロンシャイナー	DMモロコ	DM公魚	
	クリア			

O.S.P クロニクル

開発担当が語る、あのルアーの秘密。



厳寒期を間近に控えたこの時期。出番が多くなるシャッドの準備に余念がないアングラーも少なくないだろう。今回はO.S.Pが放つシャッドの片翼ハイカットの誕生秘話を明かす…

O.S.Pが提唱する「シャッドの二極化」を実現

2002年、これまでのシャッドの常識を覆す革新的アイテムが、O.S.Pから世に送り出された。48mmのボディには異形ともいえるロングリップを搭載しながらも、同クラスのシャッドの中では最大級の飛距離を生み、かつキャストによって最大潜行深度4mを記録。ロングリップによるスナッグレス性能の高さも見せた。さらにスローリリーブ性能も。日本で完成されたつあったスモールシャッドのカタチを壊し、あらゆる面において事実上、最強のシャッドとなった。それがダंकだ。

しかし使い込めば使い込むほど、気づかされるのがあったのもまた事実。前述した特長が生えるシチュエーションでは独壇場の活躍を見せる一方で、例えば低水温期のクリアウォーターやワカサギレイクではやや強すぎる泳ぎや、中層をノンラトルで釣らなくてはならないとき。バスがタイトなアクションを好むとき。ボトムに突っ込ませたくないときに、ダंकでは…

これら「穴」を埋めるために開発に着手したのが、ハイカットであった。

開発上、最も難航したのは固定重心にし

たこと。重心移動タイプでもフローティングは自ら浮かび上がろうとする復元力によって、泳ぎが崩れてもリカバリーが利くが、サスペンドではオモリとなる球がボディ後方に移動してしまうと、一度バランスを崩したとき、動きが壊れればなしになってしまうことが多い。飛距離、ただ巻き性能、そしてdart性能。この3つを固定重心によって最高次元で仕上げる。これがかなり難しかった、と開発担当は振り返る……

「さらにリップも、これでいこうと決めた形状をなかなか金型で再現できず苦労しました。またリップは寝かせると空気抵抗が小さくなるため飛距離が稼げるのですが、泳ぎが弱くなってしまいます。リアルなタイトアクションを狙っていたものの、弱いとは異なる、タイトな中にキレのよさと、スローでも速巻きでも誘いの性能が持続する魅力的なアクションがほしかった。結局、飛びと泳ぎを両立した理想的なリップができるまで半年の期間を要し、発売も春の予定が秋になってしまいましたが……」

当時、シャッドのリップとして主流だった形状は先端が尖っているもの。しかしこ

れどラインアイより先でしっかり水を掴むことができず、きれいなロールアクションが生まれにくい。決してダメなわけではなく、それだと独創性に欠ける、いわば誰にでも作れるシャッドとなってしまおう。

「小鱼って頭はほとんど振らずエラの上、後頭部あたりからはじまって背中にかけての筋肉を使って泳ぐと思うんです。そのアクションを再現したかった」

結果、主流のリップとは異なる、ワイドな形状を採用。これにより寝かせたリップが水を軽く受けつつ流しつつ、先端部のキック力でパワーのあるロールを生む。これでようやく、理想のリップが形となった。

「ハニカムボディの採用によるボディの軽量化も、リップを寝かせているのにも関わらず泳ぐ秘密です。開発中、かたわらにダंकを置いて、この対極のシャッドを作ろうとやってきました。O.S.Pが提唱するシャッドの二極化を実現できたと思います」

クランク系シャッドのダंकと、ミノ系シャッドのハイカット。このふたつを使い分ければ、厳寒期のバスも確実にキャッチすることができるだろう。

2014年12月の新商品情報

THE FLASH NEWS!!

秋から冬の低水温期が定番だったメタルバイブだがリフト&フォールの超次元両立の成功によりオーバーライドはシーズンを通して出番があるルアーとなった。垂直リフトでは素早い泳ぎだと、キレのいいハイピッチなバイブレーションをロングポジションでも明確に手元に伝える。フォールでは生命感のあるスライドフォールの頻度を極限まで高め右カーブ、左カーブ、そして直進フォールとバスに見切らせないバリエーションに富んだ潜行を見せる。低水温期に最上の性能を発揮することももちろんハイプレッシャー下のバスをもバイトに持ち込むいわばオールシーズン対応のメタルバイブが、ここに登場する。

シーズンを問わず活躍するメタルバイブが登場

OVERIDE
(PRODUCED BY TOMIYAMA RANBU)



Length_48mm
Weight_3/8oz
Type_Sinking
HookSize_#5
Price_900円(税抜き)

☆は12月上旬発売、★は12月下旬発売、印のないものは2月上旬発売予定です。

- | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|--|
| 
OR-1
アユ ☆ | 
OR-2
濁るワカサギ | 
OR-3
ゴールドエンアユ ★ | 
OR-4
黒金オレンジベリー | 
OR-5
ゴールドミラーシャッド ☆ | 
OR-6
コスモブラック | 
OR-7
シルバーミラーシャッド ☆ |
| 
OR-8
スティールシャッド | 
OR-9
アイスシャッド ★ | 
OR-10
銀鱗 ☆ | 
OR-11
逆鱗 ★ | 
OR-12
寒鱗 | 
OR-13
チャートブルーバック ☆ | |
| 
OR-14
マットタイガー ★ | 
OR-15
クラウン ★ | 
OR-16
パールピンクバック ☆ | 
OR-17
サンセットタイガー ★ | 
OR-18
GFスポンレッド | 
OR-19
グリーンギル ☆ | 
OR-20
ツレギル ★ |